

令和元年度

# 図書館協議会資料

日時：令和元年11月26日(金) 午後2時～

会場：富山市立図書館本館5階 多目的ルーム

富山市立図書館

## I 決算・予算及び主な事業について

## i 決算・予算の状況

## 1 平成30年度決算報告

(単位:千円)

事業名	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	備考
①管理運営事務費	611,533	607,916	0	3,617	・本館、分館窓口業務等委託 ・施設管理費等
②蔵書充実事業費	87,038	86,691	0	347	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
③読書普及事業費	394	386	0	8	・障害者サービス事業費消耗品等 ・録音図書DAISY機器借上料
④図書館ネットワーク事業費	31,689	31,127	0	562	・図書データ購入費等 ・システム借上料等
⑤音と映像資料充実事業費	543	542	0	1	・CD・DVD等購入費
⑥図書館施設整備事業費	247,500	82,735	164,070	695	・旧図書館本館の解体 ・工期(予定) 平成30年9月～令和2年1月
⑦知を深める市民交流推進事業費	6,345	6,228	0	117	・岐阜市との都市間連携事業等 ・図書館交流行事
合計	985,042	815,625	164,070	5,347	

## 2 令和元年度予算について

(単位:千円)

事業名	令和元年度 当初予算額 (A)	平成30年度 当初予算額 (B)	増減額 (A-B)	備考
①管理運営事務費	606,870	622,664	△ 15,794	・本館、分館窓口業務等委託 ・施設管理費等
②蔵書充実事業費	87,155	87,506	△ 351	・図書購入費 ・新聞・雑誌・逐次刊行図書等
③読書普及事業費	797	424	373	・障害者サービス事業費消耗品等 ・録音図書DAISY機器借上料
④図書館ネットワーク事業費	48,013	31,637	16,376	・図書データ購入費等 ・システム借上料
⑤音と映像資料充実事業費	600	646	△ 46	・CD・DVD等購入費
⑥図書館施設整備事業費	361,851 (前年度繰越164,070 千円含む)	0	361,851	・旧図書館本館の解体 ・工期(予定) 平成30年9月～令和2年1月
⑦知を深める市民交流推進 事業費	6,249	6,404	△ 155	・岐阜市との都市間連携事業等 ・図書館交流行事
合 計	1,111,535	749,281	362,254	

## ii 図書館交流行事

図書館本館では、新本館の開館時（平成 27 年 8 月）より、学習や暮らしに役立つ情報提供、市民の読書普及および図書館の利用促進を図るとともに、併せてまちなかの賑わい創出の目的で「図書館交流行事」開催しています。

## 1 図書館交流行事について

- (1) 運営主体 富山市立図書館交流行事運営委員会(構成:学識経験者、まちづくり関連団体等)  
 (2) 開催場所 図書館本館及び周辺  
 (3) 行事内容

平成 30 年度 開催回数：154 回、開催参加者数：12,701 人

令和元年度 開催回数：95 回、開催参加者数：11,242 人(R1 年 4 月～10 月末)

## ①セミナー等（一例）

目的：市民の様々な活動（学び、暮らし、ビジネス、まちづくり等）に役立つ情報について、講師を通じてわかりやすく提供する。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
学び	セミナー「睡眠と生活習慣病—寝ないと太る—」（連携：富山大学）	7 月 7 日	2F ロビー	140
	セミナー「これだけは知っておきたい！相続・成年後見について」（連携：法テラス富山）	10 月 6 日	同上	60
ビジネス	はじめての創業・起業セミナー「起業という選択—小さく始めて 1 億売った！私の起業法—」（連携：県よろず支援拠点）	9 月 1 日	同上	60

## ②イベント等（一例）

目的：図書館の理解を深めたり、或いは文学、文化・芸術などの魅力に触れたりすることができる行事を開催し、図書館利用のきっかけとするとともに、来街者の増に貢献していくもの。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
文学	直木賞作家・荻原浩さん講演会「こうして小説を書いている」	9 月 29 日	2F ロビー	130
	富安陽子さん講演会「妖怪とのつきあい方、教えます」	10 月 5 日	同上	100
文化・芸術	ワークショップ「八尾和紙で御朱印帖を作ろう」	6 月 16 日	3F セミナールーム	34
	ライブラリー&ミュージアムコンサート	6 月 9 日 7 月 28 日	2F ロビー	420

## ③児童行事（一例）

目的：幼児・児童の心豊かな成長を促すとともに、図書館を利用してもらうきっかけとする。

テーマ	行事（例）	開催日	開催場所	参加人数
おはなし会	0・1・2 ポケット (連携:富山市立図書館よみきかせの会)	毎月 第1日曜日	3F ふれあい 交流ルーム	236
ワークショップ	「1日のできる自由研究—ムササビ グライダーをつくろう！」 (連携:富山大学)	8月17日	3F セミナ ールーム	29
イベント	富山市と岐阜市の子ども司書による ミニビブリオバトル	8月4日	3F ふれあい 交流ルーム	52

## ④本の企画展示（一例）

目的：テーマ別に図書館の本の魅力をわかりやすく紹介し、利用増を図る。

項目	行事(例)	開催日	開催場所
一般	<b>平成の本</b> 新元号への移行を記念し、平成の30年間の各年の ベストセラーや話題になった本を展示。	4月25日～ 6月4日	4階一般 図書フロア
	<b>がんと闘う</b> セミナー「胃がん—どうやって治す？ どうやって防 ぐ—」の開催にちなみ、がんに関する図書、闘病記 等を展示。	9月4日～ 10月1日	同上
児童	<b>ものがたり海をわたる～金原瑞人さん作品展示～</b> 金原瑞人さん講演会「海外文学のススメ」の開催に ちなみ、著作および訳書を展示。(一般・児童合同)	7月11日～ 8月6日	3階児童 図書フロア
	<b>たのしい ふしぎが いっぱい！～よんでみよう！富 安陽子さんの本～</b> 富安陽子さん講演会の開催にちなみ、著作を展 示。	8月9日～ 9月4日	同上

## 2 主な行事

## (1) 図書館ポップクラブ

## ア 内容

市内の65歳以上を対象にH29年11月に発足したシニア向けのサークル活動。「お薦めしたい本をたくさんの人々に紹介する」というテーマで活動いただくことで、シニア世代の生きがいづくり及びまちなかでの交流を図る。お薦めしたい本のポップ（本の紹介カード）を作成し、4階一般図書フロアの専用コーナーに本とともに展示している。R元年11月からは、8名の新規会員を加え、事業を拡大して活動。

イ 開催頻度 毎月1回

ウ 会員数 25人



展示



製作風景

(2) 鈴木まもる展「絵本原画と世界の鳥の巣コレクション」

ア 内容

絵本作家・画家・鳥の巣研究家の鈴木まもる氏の絵画 55 点及び鳥の巣の実物 21 点を展示した。10 月 19 日には、講演会「絵本と鳥の巣の不思議」を行い、絵本の創作過程や鳥の巣から見える世界についてなどお話いただいた。会期中には、鈴木氏によるギャラリートークを 3 回開催した。

イ 会期 令和元年 10 月 19 日（土）～11 月 4 日（月）

ウ 来場者数 展覧会 6,572 人 講演会 60 人



会場風景



講演会



ギャラリートーク

## Ⅱ 利用者等からのご意見などについて

アンケート期間：令和元年7月9日（火）から25日（火） 15日間

対象：本館等全館（25館）（利用者に館内で記載していただいたもの）

回答数：1,196件（配布枚数 1,970枚 回収率 60.7%）

### i 利用者アンケート調査結果

<令和元年度実施>

#### （1）図書館の利用頻度（単位：人）

			週2回以上	週1回～ 月2回程度	月1回程度	2ヶ月～半 年に1回程 度	ほとんど 利用しない	回答数
本館	図書館の 利用頻度	人数	161	271	152	92	109	785
		割合	20.5%	34.5%	19.4%	11.7%	13.9%	100%
地域館	図書館の 利用頻度	人数	18	62	25	19	3	127
		割合	14.2%	48.8%	19.7%	15.0%	2.4%	100%
分館等	図書館の 利用頻度	人数	55	155	47	8	11	276
		割合	19.9%	56.2%	17.0%	2.9%	4.0%	100%

図書館の利用頻度については、各館において「週1回～月2回程度」が最も多くの割合を占めました。図書館を利用する方の多くは、定期的に通っていることが伺えます。

#### （2）図書館利用の目的（2つまで回答可とした）

		本館	地域館	分館
本を借りるため	件数	466	109	227
	割合	37.4%	54.0%	55.4%
館内で読書をするため	件数	166	23	38
	割合	13.3%	11.4%	9.3%
時間を過ごすため	件数	103	12	28
	割合	8.3%	5.9%	6.8%
情報・知識を得るため	件数	191	25	55
	割合	15.3%	12.4%	13.4%
自己啓発のため	件数	70	11	25
	割合	5.6%	5.4%	6.1%
仕事の準備のため	件数	34	3	16
	割合	2.7%	1.5%	3.9%
学習をするため	件数	147	13	14
	割合	11.8%	6.4%	3.4%
行事に参加するため	件数	26	1	4
	割合	2.1%	0.5%	1.0%
その他	件数	43	5	3
	割合	3.5%	2.5%	0.7%

本館、地域館、分館の利用者の目的のうち、一番多いものは本を借りるために来館しているとの回答でした。昨年と比べ、特に分館での利用目的のうち「仕事の準備のため」という回答が増えました。このことが、図書館満足度のビジネス資料の満足度の結果に影響していると思われます。「学習をするため」という理由が減った理由としては、今年度は昨年と比べ10代からの回答数が減少したこととも関係しているのではないかと考えます。

(3) 図書館の満足度・・・「Ⅲ図書館の運営評価－5.利用者満足度」に掲載

(4) 自由記述

①本館について (計 250 件の意見・要望)

<主な意見・要望>

- ・蔵書について (特定の分野の本を増やしてほしい等) (45 件)
- ・持ち込み学習について (学習席を増やしてほしい等) (25 件)
- ・開館時間について (閉館時間を遅くしてほしい等) (20 件)
- ・本の予約・取寄せについて (予約件数について、時間がかかる等) (18 件)
- ・本館駐車場の整備・無料駐車券の発行の要望 (18 件)
- ・飲食スペース・食堂設置の要望 (17 件)
- ・ブックポストについて (開館時間にも開いてほしい) (7 件)
- ・スタッフの対応について (対応が冷たい等) (7 件)
- ・空調について (寒すぎる、暑すぎる等) (4 件)
- ・お褒め・励ましの言葉 (39 件)

②地域館・分館等について (計 108 件の意見・要望)

<主な意見・要望>

- ・蔵書について (特定分野の本を増やしてほしい等) (42 件)
- ・本の予約・取寄せについて (予約件数について、時間がかかる等) (7 件)
- ・スタッフの対応について (待たされる、うるさい等) (5 件)
- ・駐車場の整備について (2 件)
- ・開館時間について (閉館時間を遅く、分館の開館時間を揃えてほしい等) (2 件)
- ・お褒め・励ましの言葉 (25 件)

☆いただきましたご意見やご要望については、検討を行い、直ちに修正できることは修正していくとともに、今後の図書館運営に活かしてまいります。

ii 富山市民意識調査結果

平成 30 年 10 月富山市民意識調査結果報告書(抜粋)

1 1. 図書館の利用

問11 あなたは富山市立図書館(本館・地域館・分館など)をよく利用しますか。

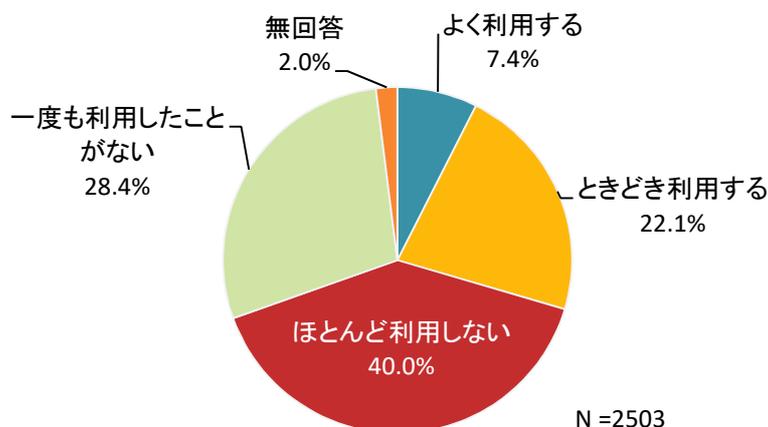
●富山市立図書館を「一度も利用したことがない」人は約 3 割

「よく利用する」と回答した人は 7.4%、「ときどき利用する」と回答した人は 22.1%であった。「ほとんど利用しない」を含めると、一度は利用したことがある人は 69.5%と、約 7 割を占めている。

性別：「一度も利用したことがない」は男性が高い。

年齢別、職業別：「よく利用する」と回答した割合が比較的高いのは、30 歳代の人と、公務員・団体職員の人、家事専業の人である。

【図書館利用頻度】



【図書館利用頻度〈性別・年齢別・職業別・居住地域別〉】

(%)

	回答者数 (人)	よく 利用 する	す と き ど き 利 用	利 用 し な い	ほ と と も が 利 用 し	た 一 こ 度 も が 利 用 し	無 回 答
全体	2503	7.4	22.1	40.0	28.4	2.0	
〈性別〉							
男性	1122	5.5	18.1	40.0	33.8	2.6	
女性	1376	8.9	25.5	40.1	24.0	1.5	
〈年齢別〉							
29歳以下	221	6.3	25.8	43.0	24.0	0.9	
30～39歳	315	12.7	23.8	37.5	25.1	1.0	
40～49歳	408	9.1	28.4	39.2	22.8	0.5	
50～59歳	427	5.6	18.0	49.2	26.5	0.7	
60～69歳	591	5.9	19.3	40.1	32.5	2.2	
70歳以上	537	6.5	21.4	33.7	33.5	4.8	
〈職業別〉							
農林漁業	38	7.9	13.2	26.3	50.0	2.6	
自営業 *1	127	5.5	16.5	43.3	32.3	2.4	
会社・団体役員	176	2.3	18.8	49.4	29.0	0.6	
公務員・団体職員	146	12.3	24.0	41.8	20.5	1.4	
会社員など *2	571	5.1	19.4	44.3	30.6	0.5	
パートタイム等 *3	535	9.0	26.9	40.4	22.2	1.5	
学生	61	9.8	36.1	36.1	14.8	3.3	
家事専業	303	12.2	24.8	35.3	26.4	1.3	
無職	497	6.2	19.5	34.0	35.4	4.8	
その他	33	6.1	21.2	51.5	21.2	-	
〈居住地域別〉							
富山地域	1759	8.0	22.2	41.9	25.9	2.0	
大沢野地域	162	8.0	27.8	35.2	26.5	2.5	
大山地域	82	7.3	25.6	39.0	26.8	1.2	
八尾地域	122	2.5	21.3	36.9	37.7	1.6	
婦中地域	250	6.8	20.4	38.0	34.0	0.8	
山田地域	54	3.7	14.8	35.2	40.7	5.6	
細入地域	47	6.4	23.4	19.1	51.1	-	

\*1 自営業（農林漁業以外） \*2 会社員などの正規の職員・従業員

\*3 パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託

問12 問11で「1 よく利用する」「2 ときどき利用する」「3 ほとんど利用しない」を選んだ方について、あなたはどのような目的で図書館を利用しますか。 (複数回答:2)

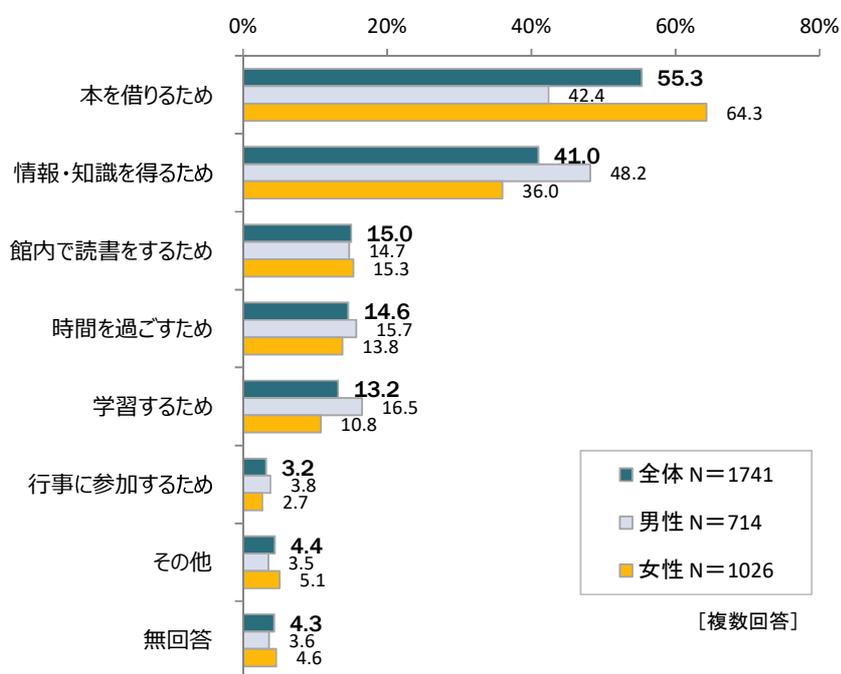
● 図書館利用の目的は「本を借りるため」「情報・知識を得るため」

図書館を利用する目的の第一は「本を借りるため」(55.3%)であり、次いで「情報・知識を得るため」(41.0%)となっている。

性別：女性では「本を借りるため」が最も高く、男性は「情報・知識を得るため」が最も高い。

年齢別：29歳以下の方は「学習するため」(41.0%)を目的とする人の割合が、他の年齢に比べ高い。

【図書館利用の目的<性別>】



【図書館利用の目的<年齢別>】

	回答者数 (人)	本を借りるため (%)	情報・知識を得るため (%)	館内で読書をするため (%)	時間を過ごすため (%)	学習するため (%)	行事に参加するため (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	1741	55.3	41.0	15.0	14.6	13.2	3.2	4.4	4.3
<年齢別>									
29歳以下	166	48.2	31.9	15.7	12.7	41.0	0.6	1.2	3.0
30~39歳	233	67.4	31.3	18.5	17.2	17.2	0.9	2.6	3.0
40~49歳	313	60.1	32.9	18.5	14.7	10.5	4.2	4.5	3.2
50~59歳	311	55.3	43.4	16.1	14.5	10.9	1.9	5.5	3.2
60~69歳	386	52.6	46.1	12.7	15.3	7.3	2.6	5.7	6.2
70歳以上	331	49.2	51.7	10.9	13.0	7.9	6.9	4.8	5.1

は、各属性 第一位の回答

### iii 利用者からの主なご意見とその対応

		ご意見	対応
(1)	本館	住宅地図のコピーが見開きの半分しかできないことに納得がいかない。	複写の範囲については、著作権法および「公立図書館における複写サービスガイドライン」(全国公共図書館協議会)、出版社からの要望に沿って定めていることを説明し、ご理解いただいた。
(2)	本館	雑誌「演劇界」(小学館)を図書館に入れてほしい。	「演劇界」は、創刊から100年を超える歴史ある歌舞伎雑誌である。歌舞伎をテーマにした雑誌は所蔵していなかったため、休刊した雑誌の代替として購入した。
(3)	本館	1階情報コーナーの読売新聞に日曜版を挟んでほしい。	1階情報コーナーに配置しているすべての新聞の特別版(日曜版含む)を挟み込むようにした。
(4)	本館	参考図書『日本帰化植物写真図鑑第2巻』について、同じシリーズなのに1巻は貸出可能で2巻は禁帯出なのはおかしい。	当該資料は、同テーマの類書が少ないことから参考図書として備えておくべき資料であると判断し、第1巻を禁帯出に変更し、シリーズで取り扱いを揃えた。
(5)	本館	慢性的に特定の新聞の独占利用が見られるため。何とかしてほしい。	新聞の利用については、「1人1紙のみの持ち出し」、また「譲り合っただけの利用」を図書館からのお願いとして閲覧席に貼り紙している。閲覧時間に制限を設けていないため、これ以上の対策は難しいことを説明した。
(6)	本館	予約図書受取室で自動貸出機を使用したところ、「利用者への貸出不可 お伝えしたいことがあります 窓口へおこしてください」と表示が出た。自分が悪いことをしたようで不快である。	自動貸出機は、利用者の方にお伝えしたい事柄がある場合に、そのように表示されるプログラムになっていることを説明した。「貸出不可」という言葉については、次回システム更新の際に表示内容を検討する。
(7)	本館	本を汚したことは、不可抗力であり故意で行ったのではない。申し訳なかったとは思っているが、図書館の弁償の規則が納得できない。	資料の弁償については、図書館条例と利用規則に定めていることを説明。資料は市の財産であり、気持ちよく利用していただくためにも、原因に拠らず損傷された場合はすべての方に弁償をお願いしていることを説明した。
(8)	本館	ホームページをスマートフォンにも対応してほしい。	図書館システムの機器更新にあわせて、スマートフォン対応を行った。
(9)	駅南	ある人の講演で「<読み聞かせ>という表現は上から目線なので<読み語り>という表現を使っている」という話を聞いた。富山市では<読み聞かせ>だが、富山市の考えを聞きたい。	<読み聞かせ>という表現は、昭和45年の開館当初より使用している。また、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の中でも<読み聞かせ>と表現されていることから、一般的に使用されている言葉であると考えます。
(10)	駅南	返却用のブックポストがなく不便だ。1階で返却できるようにしてほしい。	Ciビル1階エントランスにブックポストを設置した。

### Ⅲ 図書館の運営評価について

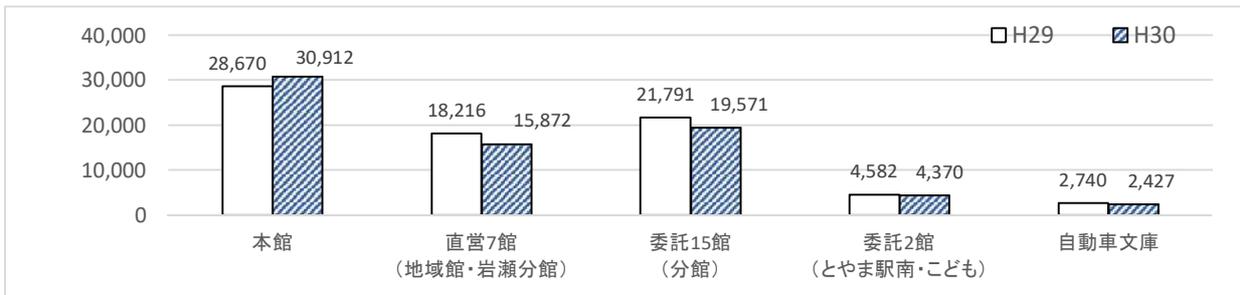
図書館法第7条の3の規定に基づき、富山市立図書館の各種統計数値(利用者満足度はアンケート調査(H30.7月実施))等を用いて、図書館の運営の状況について評価を行い、改善点など、今後の方向性について検討を行った。

#### 1. 活動実施状況について

《評価について》	評価A: 前年度より増加した、または充実を図った。 評価B: 前年度と同程度、または、例年と同程度である 評価C: 前年度未滿、または、改善を要するレベルである
----------	--

#### (1) 資料購入費 (単位:千円)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H29	28,670	18,216	21,791	4,582	2,740	75,999
H30	30,912	15,872	19,571	4,370	2,427	73,152
対前年比	107.8%	87.1%	89.8%	95.4%	88.6%	96.3%
評価	A	C	C	B	C	B



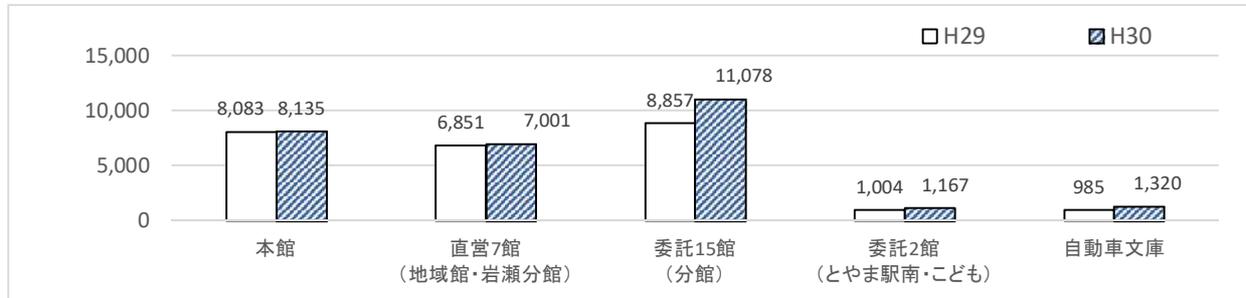
< 評価の説明 >	< 今後の方向性 >
平成29年度は豊田分館の移転開館に際し、豊田分館の図書を更新した。予算が削減に伴い、各館の利用率に合わせた予算配分とした。 (開架図書更新率(*1)=約6.7%)	予算の確保に務めるとともに、全体貸出数の5割近くを占める分館の更新を積極的に行い、全体として魅力ある蔵書構成を図る。

(\*1)開架図書更新率…

年間受入冊数/開架冊数。書庫や特別文庫等を除いた、利用者が直接閲覧できるスペースにおける図書の更新率。  
「公立図書館の設置及び運営に関する基準」(H4文部省通知)では、毎年開架冊数の5分の1(20%)以上を更新することが望ましいとしている。

(2) 除籍冊数 (単位:冊)

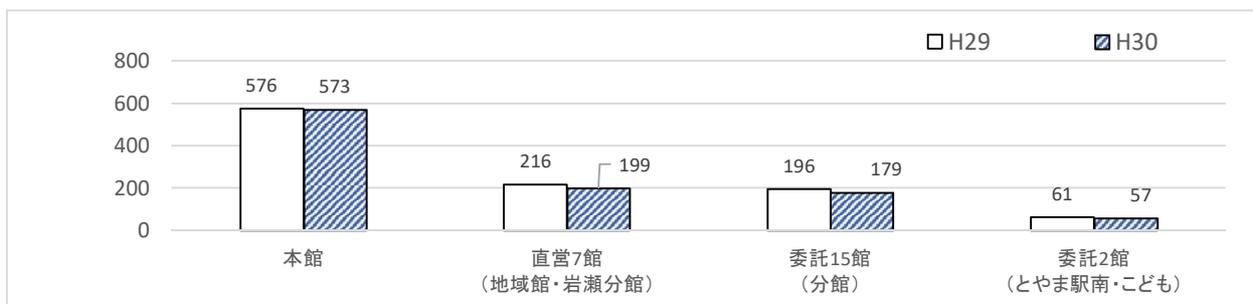
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H29	8,083	6,851	8,857	1,004	985	25,780
H30	8,135	7,001	11,078	1,167	1,320	28,701
対前年比	100.6%	102.2%	125.1%	116.2%	134.0%	111.3%
評価	B	B	A	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
開架書架の魅力をも高めるため、古く利用のなくなった図書の除籍を進めているところだが、全館において平成29年度を上回った。	計画的に除架・除籍を進め、新鮮な資料が揃う魅力的な図書館空間を保つ。また、本館においては、収容能力を超えることのないよう適切な除籍を行い、収蔵スペースを確保する。

(3) 雑誌種数 (単位:タイトル)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	576	216	196	61	1,049
H30	573	199	179	57	1,008
対前年比	99.5%	92.1%	91.3%	93.4%	96.1%
評価	B	B	B	B	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
域館・分館の雑誌数の減少は、予算にあわせて購入タイトルの見直しを行ったこと、また寄贈の減少によるもの。本館は、雑誌スポンサー制度を活用し、タイトル数を維持できている。	予算が減少するなかで書店では手にはいらぬ寄贈雑誌などの受け入れを行い、雑誌タイトル数を維持するとともに、貸出状況や利用者ニーズを分析し、購入雑誌の見直しも検討していく。

(4) 録音図書所蔵冊数 (単位:冊)

	本館
H29	3,343
H30	3,467
対前年比	103.7%
評価	B

<評価の説明>	<今後の方向性>
ボランティア団体に録音図書を制作依頼しており、所蔵タイトル数が増加した。	視覚障がい者に役立つ情報提供のため、今後も、ボランティア団体の協力を得て、録音図書の制作を行う。 未所蔵資のタイトルについては、他館より借用し貸出を行っているが、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスの活用を検討する。

(5) 講座等開催回数(一般) (単位:回)

	本館
H29	32
H30	47
対前年比	146.9%
評価	A

<評価の説明>	<今後の方向性>
主催する講座の実施回数は、平成29年度より大幅に増加した。 地域館(婦中・大山)でも、講座を開催した。また、他の機関と連携した講座が増加した。	今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。そのために、他の機関との連携を強め、幅広いジャンルの講座の開催に努める。

(6) その他行事等開催回数(一般)(単位:回)

	本館
H29	23
H30	16
対前年比	69.6%
評価	B

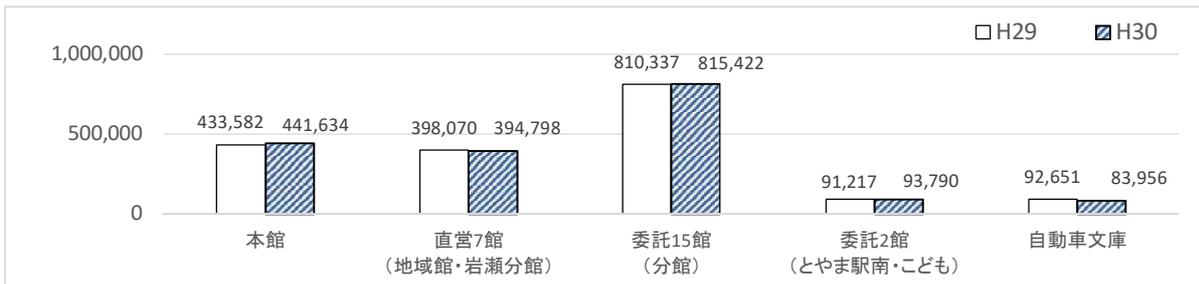
<評価の説明>	<今後の方向性>
館内の吹き抜け空間を活用した参加型イベント「ナレッジフォレスト」や菰内正幸原画展、豆本を製作するワークショップなど、本に関連した行事のほか、コンサートも開催し、気軽に図書館を利用できる環境づくりに取り組んだ。	今後も、講座等と合わせ、幅広い世代を対象とした行事を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努め、利用者の増加やまちなかの回遊性の創出につなげたい。

2. 活動実施による成果について

《評価について》	評価A: 前年度より増加した、または、充実を図った。 評価B: 前年度と同程度、または、例年と同程度である 評価C: 前年度未滿、または、改善を要するレベルである
----------	---

(1) 貸出冊数 (単位:冊)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H29	433,582	398,070	810,337	91,217	92,651	1,825,857
H30	441,634	394,798	815,422	93,790	83,956	1,829,600
対前年比	101.9%	99.2%	100.6%	102.8%	90.6%	100.2%
評価	B	B	B	B	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>本館、地域館、分館については、ほぼ昨年と同程度の貸出数であるが、分館については、高いニーズがある生活科学や趣味の本等の配置を強化した。</p> <p>とやま駅南図書館については、大きく変わらなかったが、こども図書館については、貸出数が減少した。</p> <p>自動車文庫は小学校の利用数が減ったため、貸出冊数の減少がみられた。</p>	<p>限られた予算を有効に活用し、多様な本を提供できるよう選書を行う。また、蔵書の更新を進めていくとともに、魅力ある展示や本のレイアウトを工夫するなど、本を手に取りやすい環境をつくり、貸出増につなげる。</p> <p>自動車文庫の運営に関しては一般駐車地の利用の減少があり、施設や学校・保育所での団体への貸出の強化を考える必要がある。</p>

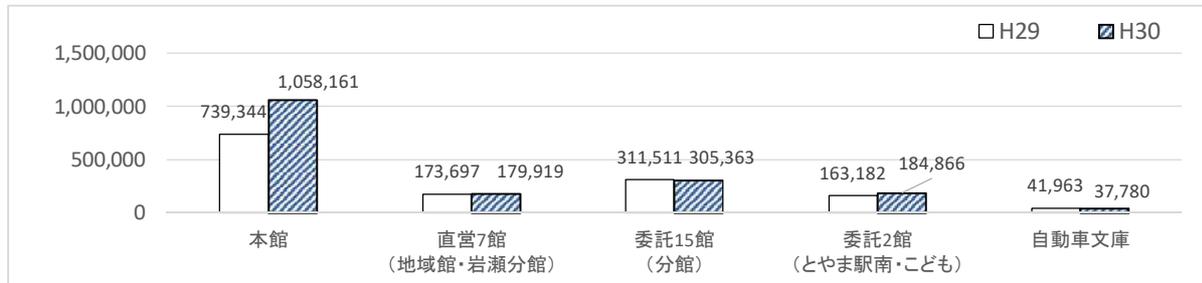
(2) 有効登録率 (単位:%) (過去5年に利用のあった実人数/市人口)

	全館(計)
H29	24.8
H30	24.5
対前年比	98.8%
評価	B

＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>ほぼ昨年と同様の結果である。</p>	<p>全体に新規登録者数の減少がみられることから、これまで図書館を利用していない層にむけてPRする必要がある。</p>

(3)入館者数(単位:人)

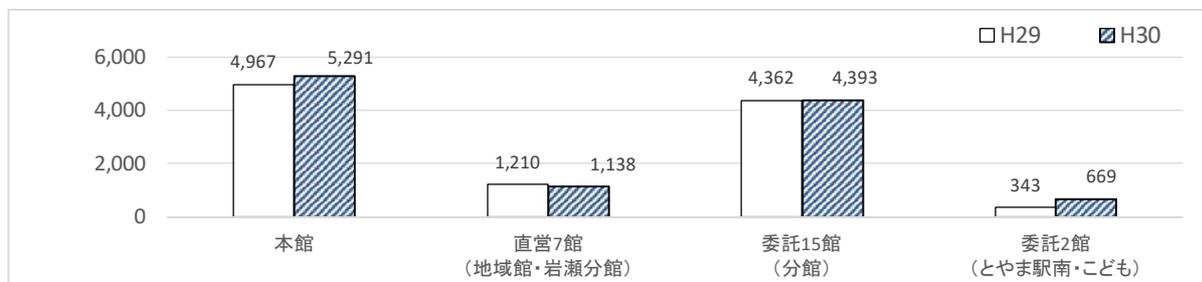
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	自動車文庫	総合(計)
H29	739,344	173,697	311,511	163,182	41,963	1,429,697
H30	1,058,161	179,919	305,363	184,866	37,780	1,766,089
対前年比	143.1%	103.6%	98.0%	113.3%	90.0%	123.5%
評価	A	B	B	A	C	A



<評価の説明>	<今後の方向性>
本館の入館者増はガラス美術館の特別展の影響が大きいとみられる。こども図書館の入館者が一昨年度に比べ増加、自動車文庫の利用者は個人貸出の減少により減少。	地域館、分館、自動車文庫では学校との連携や行事の充実に努めるなど、図書館のPRに努める。また本館、とやま駅南、こども図書館では、来館者が読書に興味を持つような、行事と連動した企画などを進める。

(4)レファレンス件数(単位:件)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	4,967	1,210	4,362	343	10,882
H30	5,291	1,138	4,393	669	11,491
対前年比	106.5%	94.0%	100.7%	195.0%	105.6%
評価	A	C	B	A	A



<評価の説明>	<今後の方向性>
本館、とやま駅南図書館・こども図書館については、去年に比べて大幅増となった。地域館、分館については昨年とほぼ同程度であった。	採用5年目までの職員に対し、研修を継続して行うなど、職員のレファレンス能力の向上を図る。また、地域館・分館にも課題解決のための参考図書や専門図書のほか、郷土資料などが充実するよう選書に努める。

(5) 視覚障害者郵送貸出件数（延べ件数）(単位:件)

	本館
H29	146
H30	140
対前年比	95.9%
評価	B

<評価の説明>	<今後の方向性>
貸出件数は微減した。新規登録者が少なく利用者の固定化が見られる。	インターネットを利用した配信サービスでのダウンロード再生が主流になりつつあるが、録音図書(DAISY)を望む声もあることから郵送サービスを維持していく。 また、図書館のホームページで障害者サービスの詳細な情報を掲載するなどしてPRを行い、認知度向上を図る。

(6) 講座等参加人数(一般) (単位:人)

	本館
H29	1,925
H30	1,730
対前年比	89.9%
評価	C

<評価の説明>	<今後の方向性>
講座の実施回数は、平成29年度より大幅に増加したが、講座1回あたりの参加人数が減少した。	今後も本市の情報の拠点として、暮らしや学び、ビジネスなど市民の活動に役立つ情報を提供する講座を開催する。そのために、他の機関との連携を強め、市民の関心やニーズを考慮しつつ、幅広いジャンルの講座の開催に努める。

(7) その他行事等参加人数(一般) (単位:人)

	本館
H29	3,513
H30	7,934
対前年比	225.8%
評価	A

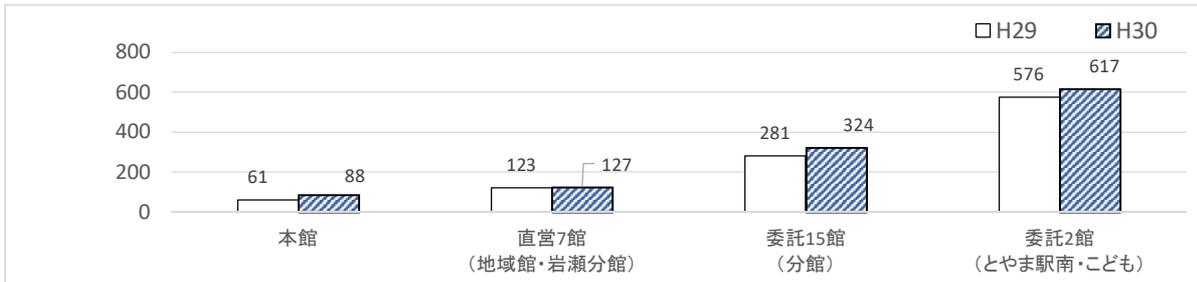
<評価の説明>	<今後の方向性>
原画展に多数の来場者があったため、参加者数が激増した。	市民の関心やニーズを考慮した企画を実施し、図書館への理解促進と来館のきっかけづくりに努めるとともに、積極的なPRを行う。

### 3. 活動実施状況(児童サービス)について

《評価について》 評価A:前年度より増加した、または充実を図った。  
 評価B:前年度と同程度、または、例年と同程度である  
 評価C:前年度未滿、または、改善を要するレベルである

#### (1)集会行事開催回数(単位:回)

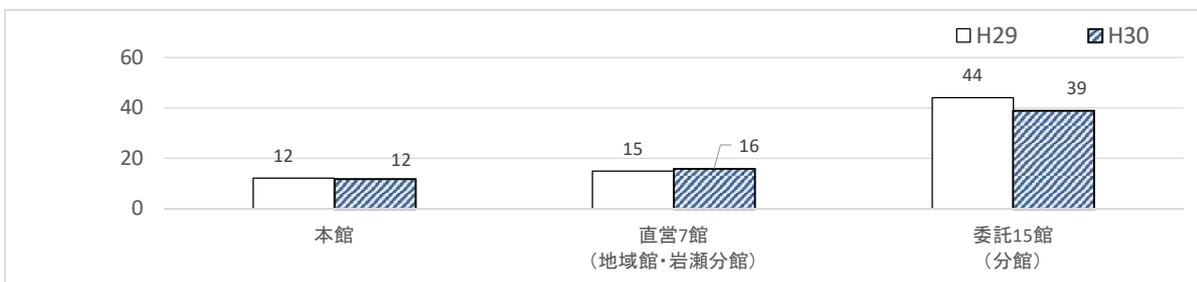
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	61	123	281	576	1,041
H30	88	127	324	617	1,156
対前年比	144.3%	103.3%	115.3%	107.1%	111.0%
評価	A	B	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
本館で、乳幼児と保護者を対象としたおはなし会を新規に実施した。 分館では、新規に子ども会を実施した館があった。	今後も、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。

#### (2)学級招待等開催数 (単位:学級)

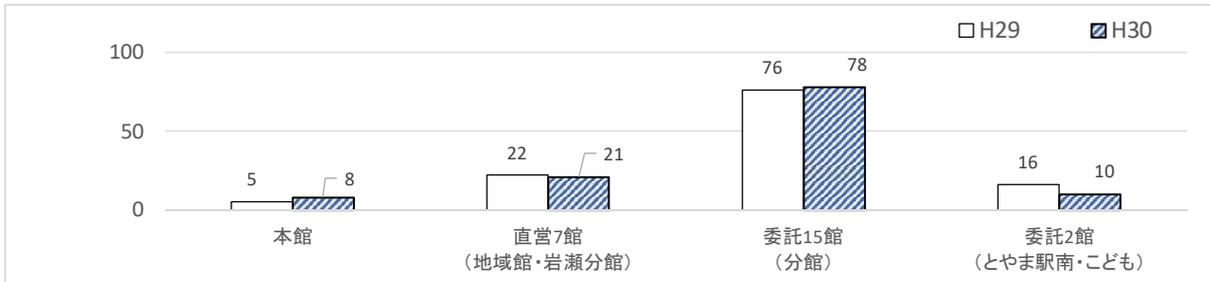
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	総合(計)
H29	12	15	44	71
H30	12	16	39	67
対前年比	100.0%	106.7%	88.6%	94.4%
評価	B	B	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導することにより、児童への読書普及に努めた。	学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、今後も継続して学校(学級)招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。

(3) 園招待開催回数 (単位:回)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	5	22	76	16	119
H30	8	21	78	10	117
対前年比	160.0%	95.5%	102.6%	62.5%	98.3%
評価	A	B	B	C	B



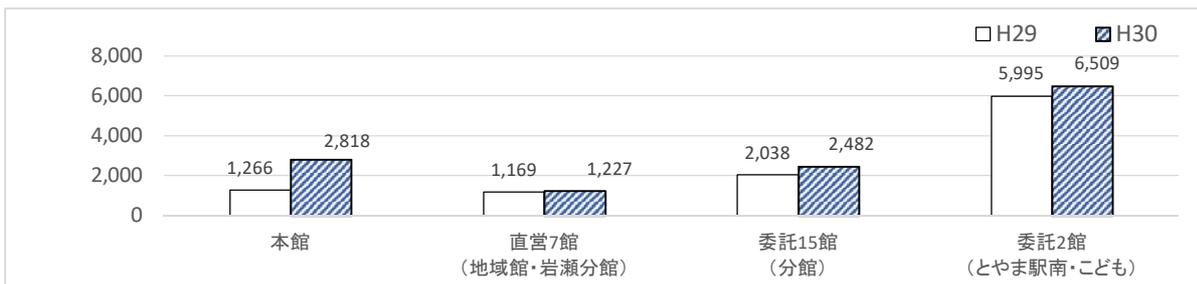
<評価の説明>	<今後の方向性>
各館近辺の保育所・幼稚園児に読み聞かせや本の貸出を行い、本への親しみを持たせるように努めた。	乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育園の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。

#### 4. 活動実施による成果(児童サービス)について

《評価について》 評価A:前年度より増加した、または充実を図った。  
 評価B:前年度と同程度、または、例年と同程度である  
 評価C:前年度未滿、または改善を要するレベルである

##### (1)集会行事参加人数(単位:人)

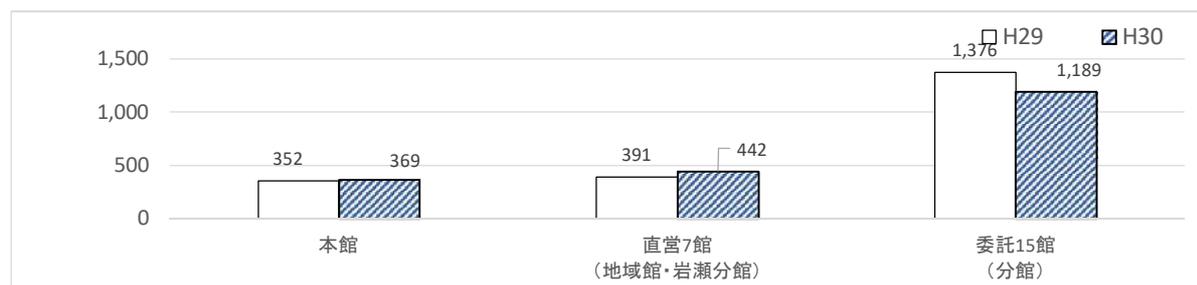
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	1,266	1,169	2,038	5,995	10,468
H30	2,818	1,227	2,482	6,509	13,036
対前年比	222.6%	105.0%	121.8%	108.6%	124.5%
評価	A	B	A	A	A



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>【再掲】本館で、乳幼児と保護者を対象としたおはなし会を新規に実施した。                      分館では、新規に子ども会を実施した館があった。</p>	<p>【再掲】今後も、各地域で活動するボランティア団体と連携し、全館で絵本の読み聞かせや読書の楽しさを伝える子ども会を継続して実施する。特にこども図書館では未就学児とその保護者に特化した行事を行い、本館においては、乳幼児から中高生まで子どもの発達段階に応じた行事を実施していく。</p>

##### (2)学級招待参加人数(単位:人)

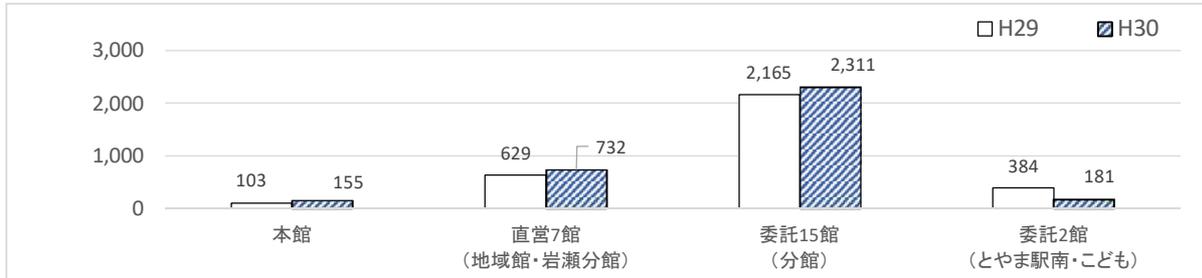
	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	総合(計)
H29	352	391	1,376	2,119
H30	369	442	1,189	2,000
対前年比	104.8%	113.0%	86.4%	94.4%
評価	B	A	C	B



＜評価の説明＞	＜今後の方向性＞
<p>【再掲】各館周辺の小学2年生を招待し、図書館利用方法を指導することにより、児童への読書普及に努めた。</p>	<p>【再掲】学校側には社会見学活動の一環として協力を求め、今後も継続して学校(学級)招待を推進し、児童の読書普及と図書館利用の活性化を図る。</p>

(3) 園招待参加人数 (単位:人)

	本館	直営7館 (地域館・岩瀬分館)	委託15館 (分館)	委託2館 (とやま駅南・こども)	総合(計)
H29	103	629	2,165	384	3,281
H30	155	732	2,311	181	3,379
対前年比	150.5%	116.4%	106.7%	47.1%	103.0%
評価	A	A	B	C	B



<評価の説明>	<今後の方向性>
<p>【再掲】各館近辺の保育所・幼稚園児に読み聞かせや本の貸出を行い、本への親しみを持たせるように努めた。</p>	<p>【再掲】乳幼児等の心豊かな成長に資するよう、幼稚園・保育園の協力を得ながら、全館で園招待を推進していく。</p>

5. 利用者満足度について

令和元年度富山市立図書館利用者アンケート結果報告

- (1) 調査対象 : 本館、地域館、分館等25館の来館者（自動車文庫利用者は含まない）
- (2) 調査方法 : 図書館内で入館者に質問票を手渡し、記入してもらった。
- (3) 調査日時 : 令和元年7月9日（火）～7月23日（火）

【評価】 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） B：どちらとも言えない（0.4以上） C：良好と言えない（0.4未満）

①資料面

平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×-1点＋「大変不満」回答者数×-2点）/全回答者数

			大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない(0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	H30 満足度	H30 評価	評価の説明	今後の方向性
蔵書の品揃え	小説・エッセイ等の読み物	本館	件数(件)	149	257	201	28	5	640	0.81	A	0.78	A	本館では多くの項目で「大変満足」「満足」の回答が大きく上回っている。  地域館・分館での「ビジネス関係」の満足度が低いのは、アンケートの図書館来館の目的のなかの「仕事の準備」が昨年に比べ伸びたことから、現状よりもさらに幅広い資料が求められているものと考えられる。  「雑誌の品揃え」について地域館の満足度が下がった要因としては、雑誌休刊のタイピングなどで地域館購入雑誌のタイトル数を見直したことがあると考える。  本館、地域館、分館等の役割や利用者ニーズを踏まえて、地域館・分館に重点を置き、本を配置する。  新聞は全館でデータベースより過去の新聞などがみられるのでPRに努めたい。  利用者が目的の本をわかりやすく選んでいただけるよう、除籍や書架の整理を進める。
		割合	23%	40%	31%	4%	1%	100%						
		地域館	件数(件)	18	44	34	17	3	116	0.49	B	0.79	A	
		割合	16%	38%	29%	15%	3%	100%						
		分館等	件数(件)	31	126	72	25	1	255	0.63	A	0.69	A	
		割合	12%	49%	28%	10%	0%	100%						
	生活・趣味に関する本	本館	件数(件)	157	237	197	30	5	626	0.82	A	0.75	A	
		割合	25%	38%	31%	5%	1%	100%						
		地域館	件数(件)	15	37	42	9	2	105	0.51	B	0.71	A	
		割合	14%	35%	40%	9%	2%	100%						
		分館等	件数(件)	27	118	75	19	1	240	0.63	A	0.77	A	
		割合	11%	49%	31%	8%	0%	100%						
	ビジネス関係の本	本館	件数(件)	107	165	274	19	6	571	0.61	A	0.54	B	
		割合	19%	29%	48%	3%	1%	100%						
		地域館	件数(件)	10	23	52	9	3	97	0.29	C	0.35	C	
		割合	10%	24%	54%	9%	3%	100%						
		分館等	件数(件)	14	54	128	9	1	206	0.34	C	0.56	B	
		割合	7%	26%	62%	4%	0%	100%						
	事典類などの調査参考図書	本館	件数(件)	121	162	267	15	6	571	0.66	A	0.62	A	
		割合	21%	28%	47%	3%	1%	100%						
		地域館	件数(件)	13	26	49	7	2	97	0.42	B	0.48	B	
		割合	13%	27%	51%	7%	2%	100%						
		分館等	件数(件)	14	55	120	15	1	205	0.32	C	0.52	B	
		割合	7%	27%	59%	7%	0%	100%						
絵本・紙芝居などの児童図書	本館	件数(件)	133	158	253	8	4	556	0.73	A	0.75	A		
	割合	24%	28%	46%	1%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	20	32	37	3	2	94	0.69	A	0.67	A		
	割合	21%	34%	39%	3%	2%	100%							
	分館	件数(件)	33	64	99	6	1	203	0.60	A	0.76	A		
	割合	16%	32%	49%	3%	0%	100%							
蔵書の新しさ	本館	件数(件)	154	236	170	37	7	604	0.82	A	0.73	A		
	割合	25%	39%	28%	6%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	12	32	36	25	4	109	0.21	C	0.39	C		
	割合	11%	29%	33%	23%	4%	100%							
	分館等	件数(件)	23	83	86	32	3	227	0.40	B	0.47	B		
	割合	10%	37%	38%	14%	1%	100%							
雑誌の品揃え(種類・内容)	本館	件数(件)	213	213	159	21	4	610	1.00	A	0.94	A		
	割合	35%	35%	26%	3%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	13	19	45	21	5	103	0.14	C	0.40	B		
	割合	13%	18%	44%	20%	5%	100%							
	分館等	件数(件)	25	71	96	24	3	219	0.42	B	0.53	B		
	割合	11%	32%	44%	11%	1%	100%							
新聞の品揃え(種類・内容)	本館	件数(件)	200	173	204	13	4	594	0.93	A	0.90	A		
	割合	34%	29%	34%	2%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	16	16	57	8	3	100	0.34	C	0.35	C		
	割合	16%	16%	57%	8%	3%	100%							
	分館等	件数(件)	14	32	101	10	8	165	0.21	C	0.35	C		
	割合	8%	19%	61%	6%	5%	100%							
総合評価(資料関係)	本館	件数(件)	1,234	1,601	1,725	171	41	4,772	0.80	A	0.75	A		
	割合	26%	34%	36%	4%	1%	100%							
	地域館	件数(件)	117	229	352	99	24	821	0.38	C	0.53	B		
	割合	14%	28%	43%	12%	3%	100%							
	分館等	件数(件)	181	603	777	140	19	1,720	0.46	B	0.59	B		
	割合	11%	35%	45%	8%	1%	100%							

②サービス面

評価 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） 評価B：どちらとも言えない（0.4以上） 評価C：良好と言えない（0.4未満）  
 平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×-1点＋「大変不満」回答者数×-2点）/全回答者数

		大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない(0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	H30 満足度	H30 評価	評価の説明	今後の方向性
開館時刻	本館	件数(件)	241	232	144	47	12	676	0.95	A	0.87	A	
		割合	36%	34%	21%	7%	2%	100%					
	地域館	件数(件)	35	41	36	4	2	118	0.87	A	0.94	A	
		割合	30%	35%	31%	3%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	107	87	65	0	1	260	1.15	A	1.31	特A	
		割合	41%	33%	25%	0%	0%	100%					
閉館時刻	本館	件数(件)	209	226	152	70	13	670	0.82	A	0.78	A	
		割合	31%	34%	23%	10%	2%	100%					
	地域館	件数(件)	34	43	35	4	2	118	0.87	A	0.85	A	
		割合	29%	36%	30%	3%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	99	86	58	10	1	254	1.07	A	1.10	A	
		割合	39%	34%	23%	4%	0%	100%					
館内の過ごしやすさ	本館	件数(件)	340	249	81	12	5	687	1.32	特A	1.25	特A	
		割合	49%	36%	12%	2%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	44	47	25	2	2	120	1.08	A	1.25	特A	
		割合	37%	39%	21%	2%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	111	100	37	3	0	251	1.27	特A	1.36	特A	
		割合	44%	40%	15%	1%	0%	100%					
自動貸出機の使いやすさ	本館	件数(件)	317	183	130	11	5	646	1.23	特A	1.13	A	
予約受取室の使いやすさ	本館	件数(件)	212	161	213	4	8	598	0.94	A	0.86	A	
本の企画展示	本館	件数(件)	170	192	221	10	6	599	0.85	A	0.77	A	
		割合	28%	32%	37%	2%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	30	45	33	3	2	113	0.87	A	0.91	A	
		割合	27%	40%	29%	3%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	70	102	60	1	1	234	1.02	A	1.12	A	
		割合	30%	44%	26%	0%	0%	100%					
行事の内容	本館	件数(件)	154	187	240	11	5	597	0.79	A	0.70	A	
		割合	26%	31%	40%	2%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	18	27	54	3	2	104	0.54	B	0.64	A	
		割合	17%	26%	52%	3%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	48	77	95	3	0	223	0.76	A	0.89	A	
		割合	22%	35%	43%	1%	0%	100%					
調べもの相談 (レファレンスサービス)	本館	件数(件)	190	169	226	10	6	601	0.88	A	0.76	A	
		割合	32%	28%	38%	2%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	31	35	36	3	3	108	0.81	A	0.90	A	
		割合	29%	32%	33%	3%	3%	100%					
	分館等	件数(件)	74	84	62	3	0	223	1.03	A	1.17	A	
		割合	33%	38%	28%	1%	0%	100%					
係員の対応	本館	件数(件)	294	221	130	8	12	665	1.17	A	1.12	A	
		割合	44%	33%	20%	1%	2%	100%					
	地域館	件数(件)	57	38	19	2	3	119	1.21	特A	1.17	A	
		割合	48%	32%	16%	2%	3%	100%					
	分館等	件数(件)	147	87	22	1	0	257	1.48	特A	1.47	特A	
		割合	57%	34%	9%	0%	0%	100%					
総合評価(サービス面)	本館	件数(件)	2,127	1,820	1,537	183	72	5,739	1.00	A	0.92	A	
		割合	37%	32%	27%	3%	1%	100%					
	地域館	件数(件)	249	276	238	21	16	800	0.90	A	0.96	A	
		割合	31%	35%	30%	3%	2%	100%					
	分館等	件数(件)	656	623	399	21	3	1,702	1.12	A	1.21	特A	
		割合	39%	37%	23%	1%	0%	100%					

各項目とも、「大変満足」及び「満足」の回答が「不満」及び「大変不満」を大きく上回っている。

サービス面の満足度は、資料面の利用者満足度よりかなり高く、総合的に満足度は高いものと言える。特に「館内の過ごしやすさ」「係員の対応」については本館・地域館・分館共に満足度が高い。

本館の自動貸出機、予約受取室の満足度が上がり、利便性が実感されているものと思われる

なお、「行事の内容」の満足度が低い要因として、行事に参加したことのない利用者が多いことから、「どちらでもない」と回答した方が多かったことが考えられる。また、地域館の「行事の内容」の満足度が低い理由としては、昨年度実施した講座などが、今年度のアンケート時には開催されていない館があったことも理由の一つと考える。

一昨年より地域館でも外部（大学など）と連携しての行事をはじめたことから、さらに地域住民の興味を引くイベントを企画し開催することが大切であると考えている。今年度は講座だけでなく、参加型のワークショップなどを実施。

今後とも、利用者のご意見等を踏まえ、不備な点を点検し、図書館員の情報共有を図りながら、積極的にサービスの改善に努めていく。

③総合的満足度

評価 特A：大変良好である（平均満足度が1.2以上） A：良好である（0.6以上） 評価B：どちらとも言えない（0.4以上） 評価C：良好と言えない（0.4未満）

平均満足度＝（「大変満足」回答者数×2点＋「満足」回答者数×1点＋「どちらでもない」回答者数×0点＋「不満」回答者数×－1点＋「大変不満」回答者数×－2点）/全回答者数

		大変満足 (2点)	満足 (1点)	どちらでも ない (0点)	不満 (-1点)	大変不満 (-2点)	計	平均 満足度	評価	H30 平均満足度	H30 評価	評価の説明	今後の方向性
本館	件数(件)	279	372	62	8	7	728	1.25	特A	1.21	特A	<p>市民の多岐にわたる需要に応えるため、総合的に魅力ある図書館づくりに努めるとともに、図書館の本や図書館の利用方法をPRする。</p> <p>各項目とも、「大変満足」及び「満足」の回答が「不満」及び「大変不満」を大きく上回り、概ね良い評価をいただいた。</p> <p>本の選定・配置、職員のスキル向上、貴重資料・郷土資料の整理など課題に取り組んでいく。</p> <p>また、これまで図書館を利用しなかった市民が来館するきっかけとなるよう、あらゆる世代を対象とする行事を開催する、学校などとの連携を深めるなど、新しい利用者を開拓していく。</p>	
	割合	38%	51%	9%	1%	1%	100%						
地域館	件数(件)	32	62	22	3	3	122	0.96	A	1.06	A		
	割合	26%	51%	18%	2%	2%	100%						
分館等	件数(件)	95	155	17	3	0	270	1.27	特A	1.22	特A		
	割合	35%	57%	6%	1%	0%	100%						

## IV 報告事項

### 1 「富山市子ども読書活動推進計画（第四次）」の策定について

#### (1) 趣旨

平成27年に策定した「富山市子ども読書活動推進計画（第三次）」の5か年計画が修了するため、計画を見直し令和元年度中に「富山市子ども読書活動推進計画（第四次）」を策定するもの。

#### (2) 懇話会委員（五十音順）

生田委員（高志の国文学館事業部長（絵本専門士）、高島委員（水橋中学校校長）、深山委員（富山市PTA連絡協議会「良書をすすめる会」委員長）、堀委員（音川小学校校長）、松崎委員（「富山市立図書館よみきかせの会」代表）

#### (3) 第四次計画の特徴

- ①発達段階ごとの読書傾向と取組事例
- ②子どもの読書への関心を高めるための取組の促進（子ども司書・ビブリオバトルなど）

#### (4) スケジュール（予定）

令和元年 11 月	第 1 回 富山市子ども読書活動推進計画（第四次）懇話会
令和元年 11 月 20 日	パブリックコメント募集
～12 月 5 日	
令和 2 年 1 月	第 2 回 富山市子ども読書活動推進計画（第四次）懇話会
令和 2 年 3 月	教育委員会定例会・総務文教委員会に報告・公表

### 2 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国文学研究資料館との連携について

#### (1) 趣旨

当館に所蔵する山田孝雄文庫の和書について、上記機関と連携し画像データを作成し公開するもの。

#### (2) 連携機関

国文学研究資料館は、国内の日本文学とその関連資料を大規模に集積し、日本文学をはじめとする様々な分野の研究者の利用に供するとともに、それらに基づく先進的な共同研究を推進する日本文学の基盤的な総合研究機関。古典籍を電子化（画像化）し、自由に検索できるデータベース「新日本古典籍総合データベース」を作成することで、文化財の後世への継承に貢献するとともに、国際的な規模での研究に役立てるもの。

### 3 奥田北分館の移転について

#### (1) 趣旨

奥田北公民館が移転改築されることに伴い、奥田北分館が移転するもの。

#### (2) スケジュール

令和元年度～令和2年度 建築主体・電気設備・機械設備工事

令和2年11月 供用開始（予定）

### 4 図書館旧本館解体について

#### (1) 趣旨

図書館本館の移転に伴い、不要となった旧本館を解体するもの。

#### (2) スケジュール

平成30年度～令和元年度 解体工事

令和2年1月 工事完了（予定）



<旧図書館本館>

### 5 TOYAMA キラリ来館者数300万人達成について

#### (1) 趣旨

令和元年5月12日、TOYAMA キラリへの来館者数が300万人を達成したもの。記念式典を開催し、300万人目の来館者の方へ、認定証と記念品を贈呈した。



<記念式典>